

「牛用受精卵移植器 モ3号」 販売開始のお知らせ

岩手県農業研究センター畜産研究所で考案した「牛用受精卵移植器 モ3号」が2007年7月から販売開始となりました。このモ3号は、移植操作が容易で反復利用が簡便、低コストで使用可能なステンレス製移植器です。下記にモ3号の特徴と使用法、販売業者の連絡先等を掲載いたしましたのでご覧ください。

モ3号の特徴と使用方法

モ3号(右写真)は3パーツから構成されています。はストローを移植器に装着する際に使用する棒です。の下部からストローを装着できます。はストロー内の胚を押し出す棒です。価格は16000円/本です。

でストローを押し出すとストロー内の綿栓が移植器先端まで達します。気になる方は に0.5mlストロー(2cmカット)をかませることで防ぐことができます。

モ3号先端部のネジ接続を外してストローを取り出します。を使用しない場合、先端部に直接ストローをセットすることも可能です。ストローを先端に押し込むとカチッと音がして固定されます。

ステンレス製で洗浄、滅菌による反復利用が容易です。通常の移植と同様にビニール鞘を装着して使用します。



【モ3号の3パーツ :ストロー装着棒、
:移植器本体 :押し出し棒】



【モ3号の先端部;ストロー着脱容易】

【ビニール鞘装着】



【頸管内で移植器を露出】



【オールステンレス製;高圧蒸気滅菌可能】

製造元 :ミサワ医科工業株式会社

取り扱い代理店:丸善薬品株式会社

成績、ご質問等:岩手県農業研究センター 畜産研究所 家畜工学研究室

TEL.019-638-3291

TEL.019-688-7315